

町内犯罪認知件数（茨城県警公表資料より）

対象年 (年中)	犯罪総数	乗り物 盗件数	住宅侵入 窃盗件数	犯罪率 県内順位 (フースト)
令和元年	59	6	6	18
令和2年	56	3	8	11
令和3年	46	4	4	11
令和4年	60	3	9	5
令和5年	73	4	8	3
令和6年	52	6	4	27

- 犯罪総数は過去5年平均で57.4件
- 乗り物盗や住宅侵入窃盗など自宅で起こる犯罪も少なくありません
- 現在、県内全域で住宅侵入窃盗事件が増加中

家庭用防犯カメラの設置メリット

- 犯行予定者に「映像に残される」という意識が働き、**犯行をためらう**ケースが多い（逮捕や罰則を恐れる）
- 記録映像は、犯罪発生後の重要な証拠となり、**逮捕の迅速化**に繋がる
- 地域住民の防犯意識が相乗的に向上することで、**不審者が周辺に近づきにくくなる**
- 近年増加している闇バイトなどによる**緊縛強盗や空き巣への対策**になる

安心・安全なまちづくりは 防犯対策から

【ソフト面の対策】

- 町、町民、教育委員会・学校、警察等による連携状況
- ・パトロールや見守り活動
- ・防犯キャンペーン等による啓蒙活動
- ・防犯情報の共有
- ・**家庭用防犯カメラ設置費補助 (NEW)**

【ハード面の対策】

- 町民等が共同で利用する公共施設に対する整備状況
- ・防犯カメラの設置（全28箇所）
- ・防犯灯の設置（全794箇所）

町民一人ひとりの防犯意識が、 地域の防犯力を高めます！

防犯カメラが地域に増えると…

- 地域で防犯対策の相乗効果が期待されます
- 地域全体に安心感をもたらします
- 町民の不安が軽減し、生活環境が改善されます



～「地域の目」により犯罪を抑止～

令和6年中における五霞町の刑法犯認知件数は52件で、五霞町役場や防犯ボランティア団体、地元企業による官民一体となった犯罪抑止活動の成果が功をなし、令和5年中と比較して21件認知件数を減少させることができました。

しかし、**本年は県内全域で、空き巣や忍び込みなどの住宅侵入窃盗事件が増加**しており、五霞町内でも昨年と比較すると発生件数が増加傾向にあります。

窃盗事件などの犯罪の発生が少ない地域は、人の視線や防犯カメラ等の機器により、その地域の中

で「見られている」という心情を抱くような環境下にあること、つまり、「地域の目」が行き届いているという特徴があります。

そのため、**防犯カメラの設置家庭が増えることは、各家庭の防犯性能を向上させるだけでなく、地域全体の防犯性能の向上にも非常に有効**なのです。

ぜひとも五霞町で新たに実施する「家庭用防犯カメラの補助制度」を利用して、各家庭に防犯カメラを設置していただき、**「地域の目」が行き届いた五霞町にしていきたいと思います。**



茨城県境警察署
生活安全課
原田 一宏 課長